

# 建設通信新聞

## TSなど機器 操作を体験

東北測量部ら  
ミニフェスタ

国土地理院東北地方測量部と日本測量協会東北支部、宮城県測量設計業協会、仙台工科専門学校で組織する「測量の日」東北地区事業推進団体協議会実行委員会は1日、仙台市内のスリーエム仙台市科



TSを体験する児童ら

学館などで「第36回地図と測量のミニフェスタ」を開いた。地図と測量技術・知識を市民に親しんでもらうため、6月3日の「測量の日」に合わせて毎年開催している。

宮城測量協はトータルステーション(TS)を使って目標を探すシューティングゲームやクイズ、CADソフトの操作体験など、測量部などは東日本の地形の起伏を立体的に可視化した標高地形図、能登半島の模型と被災後の現況図などを展示し、訪れた児童やその保護者が関心を寄せていた。

宮城測量協の加藤一也理事・広報委員長は「これまでより小さな子どもが楽しめる企画を考えた。日常で見掛ける技術者が使う測量機器でどういったことができるか、体験を通じて知ってもらいたい」と話していた。